

北海道文教大学 平成31年3月実施卒業時アンケート報告書

教育開発センター

平成31年3月(平成30年度卒業生)に実施された卒業時アンケートについて、平成30年3月と比較して報告する。なお、修士課程アンケートは件数が少ないため分析は学士課程のみについて行った。アンケートは選択肢による回答と自由記述による回答項目があり以下のようにまとめた。

◎選択肢による回答は「大変満足」5点、「満足」4点、「やや満足」3点、「やや不満」2点、「不満」1点として平均した値を、各質問項目・各学科別で集計した。作成した表は各分野とも以下の7種類の表を作成した。

①平成29年3月調査(前年度報告済み)

②平成30年3月調査(前年度報告済み)

③平成31年3月調査(今回の結果)

①～③の各セル内のデータバーは最小値2、最大値4.5で描かれている。評価の高低が年度ごとにわかる表である。

④平成30年3月調査の値－平成29年3月調査の表(前年度報告済み)

⑤平成31年3月調査の値－平成30年3月調査の表(今回の結果)

数値上得られた変化量の表である。

⑥平成29年3月調査の値から平成30年3月調査にかけて効果(≒変化)が認められる項目のみをまとめた表(前年度報告済み)

⑦平成30年3月調査の値から平成31年3月調査にかけて統計学的に効果(≒変化)が認められる項目のみをまとめた表(今回の結果)

統計学的な変化は効果量(マンホイットニー検定のZ値を両群のサンプルサイズの和の平方根で除した値)が小以上(0.1以上)となった項目とし、変化が認められた場合のみ、変化量も記入した。

この表のうち、通常の数値が記載されているところは効果量小、太字の数値があるところは効果量中(0.3以上)が認められた項目とした。また、効果量がなし(0.1以下)となった(変化がないといってよい)場合には数値は空白とした。

◎自由記述による回答は同類の項目をまとめた。

I. 学生支援、大学設備に関する満足度

平成29年3月調査(昨年報告済み)

H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ養	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	3.65	3.39	3.70	3.64	2.74	3.59	3.44
図書館でのサービス	3.85	3.08	3.48	3.24	2.95	3.48	3.32
教室の設備	3.32	2.67	3.19	2.67	2.48	3.18	2.92
大学側からの経済的な支援	3.07	2.63	3.02	2.97	2.22	2.76	2.74
保健管理センターでのケア	3.91	3.51	3.72	3.32	3.32	3.40	3.55
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	3.68	3.52	3.84	3.59	2.63	3.51	3.44
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	3.52	2.95	3.45	2.78	2.78	3.20	3.13
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	3.54	3.19	3.27	3.29	2.95	3.24	3.23
就職・進学に対する支援	3.83	3.48	3.76	4.10	3.64	3.49	3.66

平成30年3月調査（昨年報告済み）

H29年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	3.57	3.59	3.67	3.68	3.32	3.85	3.61
図書館でのサービス	3.88	3.75	3.75	3.67	3.61	3.82	3.75
教室の設備	3.38	2.92	3.42	2.91	2.78	3.20	3.09
大学側からの経済的な支援	3.31	3.01	3.24	3.06	2.79	3.21	3.09
保健管理センターでのケア	3.67	3.83	3.74	3.90	3.45	3.77	3.73
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	3.88	3.85	3.67	3.82	3.11	3.84	3.68
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	3.44	3.34	3.66	3.33	3.15	3.67	3.43
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	3.51	3.45	3.53	3.37	3.34	3.60	3.48
就職・進学に対する支援	3.95	3.80	3.88	4.31	3.86	3.67	3.87

平成31年3月調査（今回の結果）

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	3.46	3.40	3.49	3.54	3.51	3.67	3.51
図書館でのサービス	3.83	3.59	3.19	3.79	3.67	3.77	3.60
教室の設備	3.35	3.04	3.08	2.92	3.14	3.15	3.10
大学側からの経済的な支援	3.27	2.92	2.75	2.81	2.96	3.06	2.94
保健管理センターでのケア	3.88	3.64	3.63	3.65	3.56	3.58	3.64
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	3.89	3.51	3.54	3.30	3.56	3.52	3.54
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	3.62	3.37	3.61	3.42	3.57	3.40	3.48
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	3.68	3.35	3.33	3.16	3.53	3.29	3.37
就職・進学に対する支援	3.64	3.79	3.60	3.74	3.97	3.70	3.76

平成29年3月調査から平成30年3月調査への変化分（昨年報告済み）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	-0.08	0.20	-0.03	0.04	0.57	0.26	0.17
図書館でのサービス	0.03	0.67	0.27	0.43	0.66	0.34	0.42
教室の設備	0.06	0.24	0.23	0.24	0.30	0.02	0.17
大学側からの経済的な支援	0.24	0.38	0.22	0.09	0.58	0.45	0.34
保健管理センターでのケア	-0.23	0.32	0.02	0.59	0.13	0.37	0.18
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	0.21	0.33	-0.18	0.23	0.48	0.32	0.24
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	-0.08	0.39	0.20	0.55	0.37	0.47	0.30
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	-0.03	0.25	0.26	0.08	0.39	0.36	0.24
就職・進学に対する支援	0.12	0.32	0.11	0.21	0.22	0.19	0.20

平成30年3月調査から平成31年3月調査への変化分（今回の結果）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	-0.11	-0.19	-0.18	-0.14	0.19	-0.18	-0.10
図書館でのサービス	-0.05	-0.16	-0.56	0.13	0.06	-0.05	-0.15
教室の設備	-0.03	0.12	-0.34	0.01	0.36	-0.06	0.01
大学側からの経済的な支援	-0.04	-0.09	-0.50	-0.25	0.16	-0.15	-0.15
保健管理センターでのケア	0.21	-0.19	-0.12	-0.25	0.11	-0.19	-0.09
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	0.01	-0.34	-0.13	-0.52	0.45	-0.31	-0.14
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	0.18	0.03	-0.05	0.09	0.42	-0.28	0.05
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	0.17	-0.10	-0.21	-0.21	0.19	-0.31	-0.10
就職・進学に対する支援	-0.32	-0.01	-0.27	-0.57	0.11	0.03	-0.11

平成29年3月調査から平成30年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（昨年報告済み）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)		0.20			0.57	0.26	
図書館でのサービス		0.67		0.43	0.66	0.34	0.42
教室の設備		0.24		0.24	0.30		
大学側からの経済的な支援	0.24	0.38	0.22		0.58	0.45	0.34
保健管理センターでのケア	-0.23	0.32		0.59		0.37	
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応		0.33	-0.18	0.23	0.48	0.32	0.24
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備		0.39		0.55	0.37	0.47	0.30
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備		0.25			0.39	0.36	0.24
就職・進学に対する支援		0.32		0.21	0.22		

平成30年3月調査から平成31年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（今回の結果）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)		-0.19				-0.18	
図書館でのサービス		-0.16	-0.56				
教室の設備			-0.34		0.36		
大学側からの経済的な支援			-0.50	-0.25			
保健管理センターでのケア	0.21			-0.25			
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応		-0.34		-0.52	0.45	-0.31	
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備					0.42	-0.28	
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備			-0.21		0.19	-0.31	
就職・進学に対する支援	-0.32		-0.27	-0.57			

平成30年3月調査と平成31年3月調査を比較すると、全学でみたときに評価値に変化はなかった。各学科別でみたとき、看護学科の評価値が昨年に引き続き改善している。一方、健康栄養、理学、

作業、こども発達各学科で評価値が減少している。

II 大学在学中に身についた能力の自己評価

平成29年3月調査（昨年報告済み）

H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご養	全学	
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	3.71	3.49	3.59	3.74	3.67	2.95	3.36	3.45
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)	3.74	3.75	3.94	3.95	3.50	3.60	3.60	3.74
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	3.69	3.80	4.04	4.07	3.54	3.74	3.80	3.80
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	3.82	3.45	3.62	3.72	3.38	3.54	3.56	3.66
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	3.69	3.48	3.87	3.74	3.42	3.34	3.57	3.67
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	3.77	3.77	4.19	4.35	3.78	3.92	3.93	3.93
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	3.77	3.69	4.03	4.07	3.45	3.63	3.75	3.75
問19 多様な人々(異文化の人々も含む)の考えや気持ち、行動を理解して幅広い視点から考えることができるようになった。	3.87	3.67	4.10	4.05	3.49	3.72	3.79	3.79
問20 他職種役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	3.76	3.82	4.04	4.00	3.65	3.60	3.80	3.80
問21 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	3.89	3.63	4.04	3.95	3.49	3.70	3.76	3.76
問22 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	3.94	3.56	3.93	4.05	3.41	3.66	3.71	3.71

平成30年3月調査（昨年報告済み）

H29年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご養	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	3.71	3.55	3.77	3.67	3.33	3.74	3.61
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)	3.66	3.85	3.94	4.16	3.63	3.99	3.85
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	3.74	3.95	3.94	4.09	3.78	3.96	3.91
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	3.78	3.59	3.77	3.80	3.62	3.85	3.72
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	3.77	3.63	3.76	3.82	3.65	3.82	3.72
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	3.88	4.00	4.02	4.31	3.87	4.13	4.02
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	3.74	3.88	3.95	4.16	3.81	3.95	3.90
多様な人々(異文化の人々も含む)の考えや気持ち、行動を理解して幅広い視点から考えることができるようになった。					廃止		
問19 他職種役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	3.70	3.89	4.01	4.20	3.88	3.89	3.91
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	3.74	3.76	3.91	4.04	3.72	3.98	3.84
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	3.80	3.76	3.94	3.93	3.69	4.03	3.85

平成31年3月調査（今回の結果）

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご養	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	3.78	3.64	3.72	3.49	3.63	4.09	3.74
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)	3.82	3.84	3.85	3.92	3.85	4.18	3.91
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	3.75	3.73	3.90	3.82	3.89	4.26	3.90
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	3.73	3.52	3.59	3.47	3.72	4.02	3.68
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	3.70	3.52	3.63	3.59	3.69	3.82	3.65
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	3.83	3.84	3.99	4.03	4.00	4.27	3.99
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	3.80	3.76	3.89	3.90	3.79	4.17	3.88
問19 他職種役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	3.75	3.78	3.82	4.03	3.83	4.10	3.88
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	3.76	3.60	3.78	3.77	3.78	4.03	3.78
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	3.85	3.64	3.82	3.87	3.79	4.10	3.83

平成29年3月調査から平成30年3月調査への変化分（昨年報告済み）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご養	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	-0.01	0.06	0.18	-0.08	0.38	0.38	0.16
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)	-0.08	0.09	0.01	0.20	0.13	0.39	0.12
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	0.04	0.15	-0.10	0.02	0.24	0.22	0.10
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	-0.04	0.14	0.15	0.08	0.24	0.31	0.16
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	0.08	0.15	-0.11	0.08	0.23	0.47	0.15
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	0.10	0.23	-0.17	-0.04	0.09	0.21	0.09
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	-0.04	0.19	-0.08	0.09	0.36	0.32	0.15
多様な人々(異文化の人々も含む)の考えや気持ち、行動を理解して幅広い視点から考えることができるようになった。					廃止		
問19 他職種役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	-0.05	0.06	-0.03	0.20	0.23	0.30	0.11
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	-0.15	0.12	-0.13	0.09	0.24	0.28	0.08
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	-0.14	0.20	0.01	-0.12	0.28	0.37	0.14

平成30年3月調査から平成31年3月調査への変化分（今回の結果）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご養	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	0.07	0.09	-0.05	-0.18	0.30	0.35	0.12
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)	0.16	-0.01	-0.09	-0.23	0.23	0.19	0.06
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	-0.01	-0.22	-0.04	-0.27	0.11	0.30	0.00
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	-0.06	-0.07	-0.19	-0.33	0.10	0.17	-0.04
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	-0.07	-0.11	-0.13	-0.23	0.04	0.01	-0.07
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	-0.05	-0.16	-0.03	-0.29	0.13	0.14	-0.02
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	0.07	-0.12	-0.06	-0.26	-0.02	0.22	-0.01
問19 他職種役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	0.05	-0.10	-0.19	-0.17	-0.05	0.21	-0.04
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	0.02	-0.16	-0.13	-0.28	0.06	0.05	-0.06
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	0.05	-0.12	-0.12	-0.06	0.10	0.07	-0.02

平成29年3月調査から平成30年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（昨年報告済み）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご養	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。			0.18		0.38	0.38	
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と人間科学部 専門領域における基本的な知識が身についた。)				0.20			0.39
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。					0.24		0.22
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。					0.24		0.31
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。		0.15				0.23	0.47
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。		0.23	(0.17)				0.21
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。		0.19			0.36		0.32
問19 多様な人々(異文化の人々も含む)の考えや気持ち、行動を理解して幅広い視点から考えることができる。他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。				0.20		0.23	0.30
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。						0.24	0.28
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。		0.20				0.28	0.37

平成30年3月調査から平成31年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（今回の結果）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご養	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。					0.30	0.35	
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と人間科学部 専門領域における基本的な知識が身についた。)	0.16			(0.23)	0.23	0.19	
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。		(0.22)		(0.27)		0.30	
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。			(0.19)	(0.33)		0.17	
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。				(0.23)			
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。				(0.29)			
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。				(0.26)		0.22	
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。						0.21	
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。				(0.28)			
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。							

こども発達学科では多くの項目において、昨年度よりも身についた能力の自己評価値が高くなった。作業療法学科では多くの項目において、昨年度よりも身についた能力の自己評価値が低くなった。その他の学科では変化のある項目は少なく、ほぼ現状維持であった。

なお、参考までに質問項目と各学科のディプロマポリシー（DP）との対応を以下に示す。

卒業時アンケート項目	国際言語	健康栄養	理学	作業	看護	こども発達
問12 幅広い教養が身についた。						
問13 外国語学部 英語を実践的に運用できる知識とスキルを得た。 人間科学部 専門領域における基本的な知識が身についた。	DP1 DP2			DP1	DP1	DP2
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	DP3 DP4	DP3				DP1
問15 文章力、対人的コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。				DP7	DP3	DP3
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	DP7	DP2	DP3	DP5	DP4	DP5
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。			DP4	DP4		
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。			DP2	DP2	DP3	DP4
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。			DP5		DP2	
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	DP5					
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	DP6	DP1	DP6			

III. 大学でのカリキュラムに関して

平成29年3月調査（昨年報告済み）

H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご養	全学
問23 専門分野を学ぶに当たり、教養科目での学びが役に立った。	3.86	3.69	3.73	3.72	3.04	3.56	3.59
問24 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	3.79	3.65	3.90	3.87	3.38	3.59	3.68
問25 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	3.90	3.54	3.78	3.93	3.28	3.60	3.63
問26 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	3.93	3.60	3.89	3.79	3.20	3.59	3.64
問27 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	3.83	3.54	3.67	3.44	3.41	3.43	3.55

平成30年3月調査（昨年報告済み）

H29年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご養	全学
問22 専門分野を学ぶに当たり、教養科目での学びが役に立った。	3.85	3.70	3.75	3.59	3.54	3.94	3.73
問23 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	3.75	3.82	3.93	3.89	3.58	3.87	3.80
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	3.80	3.75	3.87	3.67	3.60	3.83	3.76
問25 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	3.77	3.85	3.93	3.73	3.56	3.89	3.80
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	3.75	3.75	3.81	3.71	3.63	3.77	3.74

平成31年3月調査（今回の結果）

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご養	全学
問22 専門分野を学ぶに当たり、教養科目での学びが役に立った。	3.61	3.62	3.70	3.64	3.69	4.07	3.74
問23 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	3.73	3.55	3.76	3.74	3.67	3.92	3.71
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	3.80	3.66	3.78	3.68	3.65	4.02	3.76
問25 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	3.73	3.60	3.73	3.76	3.69	3.98	3.74
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	3.36	3.61	3.66	3.50	3.67	3.85	3.64

平成29年3月調査から平成30年3月調査への変化分（昨年報告済み）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。	0.00	0.01	0.03	-0.13	0.50	0.38	0.14
問23 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	-0.04	0.17	0.03	0.01	0.20	0.28	0.12
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	-0.10	0.21	0.09	-0.26	0.33	0.23	0.13
問25 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	-0.16	0.26	0.04	-0.06	0.36	0.31	0.16
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	-0.08	0.21	0.15	0.27	0.21	0.33	0.19

平成30年3月調査から平成31年3月調査への変化分（今回の結果）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。	-0.24	-0.08	-0.05	0.05	0.15	0.12	0.00
問23 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	-0.02	-0.27	-0.17	-0.14	0.09	0.06	-0.09
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	0.00	-0.10	-0.09	0.02	0.04	0.19	0.00
問25 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	-0.04	-0.25	-0.20	0.03	0.13	0.08	-0.06
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	-0.39	-0.14	-0.16	-0.21	0.04	0.08	-0.09

平成29年3月調査から平成30年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（昨年報告済み）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。					0.50	0.38	
問23 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。					0.20	0.28	
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。		0.21		(0.26)	0.33	0.23	
問25 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。		0.26			0.36	0.31	0.16
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。		0.21		0.27	0.21	0.33	

平成30年3月調査から平成31年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（今回の結果）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。							
問23 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。		(0.27)	(0.17)				
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。						0.19	
問25 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。		(0.25)	(0.20)				
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	(0.39)			(0.21)			

こども発達学科で到達目標の評価値がやや高くなった。健康栄養学科と理学療法学科では全体像の把握、最新の知識が学べているかの評価値が減少した。国際言語学科は選択科目の選択のしかたが難しくなったのがみとれる。

IV. 総合的な満足度に関して

平成29年3月調査（昨年報告済み）

H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問28 大学における学修は満足できるものでしたか。	3.79	3.65	3.88	3.90	3.08	3.89	3.68
問29 あなたの大学生活は充実していましたか。	3.98	3.89	3.95	4.23	3.39	4.01	3.88
問30 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	4.00	3.87	3.99	4.16	2.96	4.05	3.82

平成30年3月調査（昨年報告済み）

H29年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問27 大学における学修は満足できるものでしたか。	3.78	3.74	3.94	4.05	3.65	4.01	3.84
問28 あなたの大学生活は充実していましたか。	3.83	3.95	4.05	4.20	3.91	4.10	3.99
問29 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	3.92	3.85	4.02	4.24	3.75	4.11	3.95

平成31年3月調査（今回の結果）

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問28 大学における学修は満足できるものでしたか。	3.76	3.63	3.80	3.69	3.67	4.03	3.76
問29 あなたの大学生活は充実していましたか。	3.85	3.80	4.03	3.64	3.80	4.22	3.92
問30 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	3.95	3.65	3.98	3.79	3.78	4.28	3.89

平成29年3月調査から平成30年3月調査への変化分（昨年報告済み）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問27 大学における学修は満足できるものでしたか。	-0.01	0.09	0.06	0.15	0.57	0.12	0.16
問28 あなたの大学生活は充実していましたか。	-0.15	0.06	0.10	-0.03	0.52	0.09	0.11
問29 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	-0.08	-0.02	0.03	0.08	0.78	0.06	0.14

平成30年3月調査から平成31年3月調査への変化分（今回の結果）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問28 大学における学修は満足できるものでしたか。	-0.02	-0.11	-0.14	-0.36	0.02	0.02	-0.08
問29 あなたの大学生活は充実していましたか。	0.02	-0.15	-0.01	-0.56	-0.12	0.13	-0.08
問30 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	0.03	-0.21	-0.04	-0.45	0.03	0.17	-0.06

平成29年3月調査から平成30年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（昨年報告済み）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問27 大学における学修は満足できるものでしたか。				0.15	0.57		
問28 あなたの大学生活は充実していましたか。					0.52		
問29 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。					0.78		

平成30年3月調査から平成31年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（今回の結果）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問28 大学における学修は満足できるものでしたか。				(0.36)			
問29 あなたの大学生活は充実していましたか。				(0.56)			
問30 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。		(0.21)		(0.45)			0.17

作業療法学科では満足度3項目すべてが減少した。健康栄養学科の総合的満足度がやや減少し、こども発達学科の総合的満足度がやや向上した。その他の学科は、前年から変化がなかった。

V. 学習時間、学修行動に関して

問1 1日あたりの学習時間

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
4時間以上	0	0	0	0	0	0	0
3時間	2	3	8	6	5	0	24
2時間	8	21	9	1	17	4	60
1時間	15	29	33	14	33	22	146
ほとんどしない	12	61	37	14	29	58	211
平均時間	1.00	0.70	0.86	0.97	0.98	0.36	0.77

全学の平均時間は0.77時間（46分）程度となった。

問2 7 意欲的に取り組んだか

2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
とても思う	12	19	20	8	15	25	99
思う	16	57	47	17	40	46	223
やや思う	11	41	22	9	33	16	132
あまり思わない	0	8	1	4	1	1	15
まったく思わない	2	0	2	1	0	2	7
	3.88	3.70	3.89	3.69	3.78	4.01	3.82

こども発達学科は意欲的に取り組んでいる割には学習時間が少ないという結果となった。